

議会報告

昭和三十八年度決算
一億四百八十万円を認定

昭和三十九年十一月二十七日昭和三十八年度決算議案が東栄

町役場会議室に招集され次の決算及び議案が認定議決された。

記

昭和三十八年度決算
歳入 二、三三、七、六八円
歳出 二、四九、九、八八円
差引 一、六六、二、二〇円
翌年度繰越金

昭和三十八年度決算について

昭和三十八年度決算については収入面でも町税の取納率が非常によかった点地方交付税が比較的多く交付される等歳入は予算に比し合計において一〇四%の収入歩合となった、また支出については、一部役場車庫及び駐車場建築事業を翌年度に繰越した以外は予定した事業は一応完了し、予算に対する支出歩合は九四%となっております。(別

項の通り)

なお特別会計につきましても決算額別項の通り
議案第五〇号、昭和三十九年度一般会計才入才出予算修正について

議案第五十一号職員の日休及び休暇に関する条例制定について
議案第五十二号、愛知県町村職員退職手当給与組合規約変更について
議案第五十三号、寄附採納願について

歳入歳出補正額四三〇九千円
歳出の主なものは大洞山植林の地拵の所要費、保育園経費、土木費で日藤橋の改築費、教育費で理科教育振興法による備品購入費、産業教育振興法による備品購入費、青少年問題協議会補助等であり、
歳入歳出予算の総額は
一、二〇、一三六千円となりました。

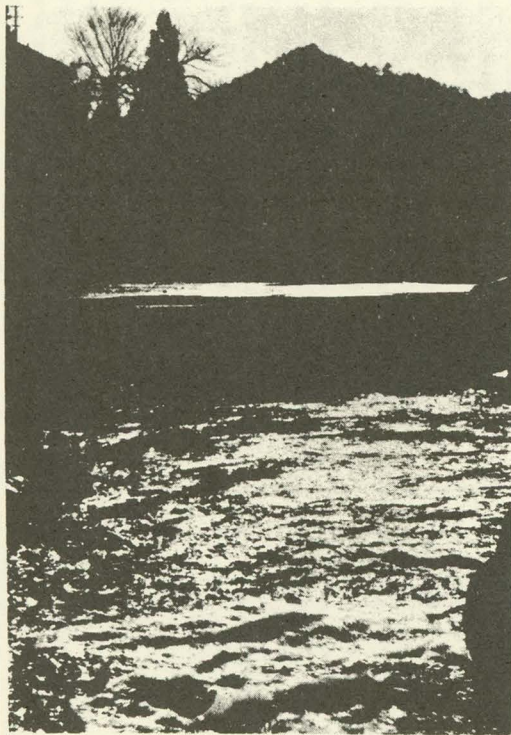
定例会議

昭和三十九年十二月十九日議定例会が役場会議室に招集さ

議案第五十四号、寄附採納願について
議案第五十五号、寄附採納願について
註、国道改修用地として、中設寮崩地内、三輪地内の町有地を、県へ寄附するもの

東栄 広報

編集発行 愛知県北設楽東栄町役場 TEL 44-47-79



夜 あけ
ひえびえと氷の朝
さむざむと川辺の土に
ほら、もう若草の芽がもえる
また、やってきました—
春のあしおと—

自然はとこしえのいのちです
若々しい春の息吹きです
このかぎりない前進のあしおとが
青年—東栄町です

保育園児の入所申し込みを受け付けます

募集期間 1月25日～2月25日
定員 本郷保育園 90名
下川 60名
三輪 60名
御殿 68名
申込書 役場厚生課と各保育園にあります。
くわしくは、申込書受領のとき問合せて下さい。

別表1 昭和38年度東栄町一般会計歳入歳出決算

款名	歳入			歳出			
	予算額	決算額	増減	款名	予算額	決算額	不用額
1 町税	31,385,200	35,170,014	3,784,814	1 議会費	4,114,410	4,089,908	24,502
2 地方交付税	44,194,950	46,250,000	2,055,050	2 役場費	22,738,665	21,308,053	1,430,612
3 公営企業及び財産収入	746,896	336,800	△410,096	3 消防費	3,432,248	3,365,534	66,664
4 分担金及び金租	2,325,500	2,311,771	△13,729	4 土木費	11,033,530	10,716,075	317,455
5 手数料及び料	1,996,683	1,597,212	△399,471	5 教育費	23,706,197	23,305,084	401,113
6 国庫支出金	5,285,609	5,418,553	132,944	6 社会福祉費	8,639,020	8,393,162	245,858
7 県支出金	9,877,802	9,429,609	△448,193	7 労働衛生費	12,912,935	11,989,252	923,683
8 寄附金	3,664,060	3,697,656	33,596	8 産業経済費	6,707,986	6,356,729	351,257
9 繰越金	7,101,962	7,101,962	0	9 財産費	3,121,478	3,107,559	13,919
10 雑収入	1,341,000	1,458,971	117,971	10 統計調査費	58,510	49,700	8,810
11 町債	3,000,000	3,000,000	0	11 選挙費	2,196,530	1,930,267	266,263
12 繰入金	545,345	545,345	0	12 公債費	3,270,857	3,147,534	123,323
歳入合計	111,465,007	116,317,893	4,852,886	13 諸支出金	8,756,306	7,040,371	1,715,935
				14 予備費	776,335	0	776,335
				歳出合計	111,465,007	104,799,278	6,665,729

歳入歳出差引残金 11,518,615円(翌年度へ繰越)

別表2 昭和38年度東栄町特別会計歳入歳出決算

区分	歳入		歳出		歳入歳出引当額 (翌年度繰越額)
	予算額	決算額	予算額	決算額	
国民健康保険特別会計	33,180,636	34,262,255	33,180,636	23,186,490	11,075,765
国民健康保険特別会計	2,631,200	2,190,198	2,631,200	2,187,873	2,325
国民健康保険特別会計	11,488,000	11,323,661	11,488,000	11,255,251	68,410
国民健康保険特別会計	38,295,528	39,724,190	38,295,528	36,075,110	3,649,080
国民健康保険特別会計	2,172,000	2,078,625	2,172,000	2,078,625	0
国民健康保険特別会計	1,250,432	1,121,323	1,250,432	1,121,323	0
国民健康保険特別会計	230,000	521,893	230,000	195,305	326,588
本郷簡易水道特別会計	734,000	884,825	734,000	702,207	182,618
御殿財産区特別会計	56,300	1,975	56,300	0	1,975
本郷財産区特別会計	15,500	818	15,500	0	818
下川財産区特別会計	561,877	561,877	561,877	179,037	382,640
園財産区特別会計	60,000	32,876	60,000	0	32,876
三輪財産区特別会計	114,800	85,750	114,800	84,550	1,200
振草財産区特別会計	60,000	78,161	60,000	51,491	26,670
農業共済事業特別会計	6,983,585	6,460,971	6,983,585	6,253,908	207,063
合	97,833,858	99,328,598	97,833,858	83,371,170	15,957,428

二月一日現在で

農業センサス(調査)が おこなわれます

世界農林業センサスは、昭和三十五年二月一日現在でおこなわれました。今回の中間農業センサスは二月一日現在において実施されました。この調査の目的は今日の日本の農業、農家の現状と動きを明らかにし、あすへの日本農業を予測するものです。全国いっせいに農家を対象としておこなわれ、その結果は国はもろろん県市町村においても今後の農林行政施策の基本資料となる重要な調査です。よろしく協力下さるようお願いいたします。

調査はそれぞれの部落に調査員を委嘱し、各戸を訪問して調査いたします。

二、調査の対象となるもの
昭和三十五年農林業センサスの際農家として調査されたもの。新しく農家(五畝以上経営耕地、年間三万円以上の農畜産販売)となったもの

三、世帯員、兼業など
世帯員全員について、(1)続き柄 (2)男女別 (3)年齢 (4)あつぎ (5)農業従事日数 (6)

兼業従事者の仕事の内容、日数 (7)農業従事の主従 (8)土地の状況など

(1)経営土地面積 (2)経営耕地のうち借入地面積 (3)過去一年間の収穫面積

四、果樹園面積

五、施設園芸(ビニールハウス等)

六、家畜、養蚕

(1)飼育頭羽数と販売額(過去一年間)

七、農業雇用労働など

(1)過去一年間の雇用人員数

八、農産物の販売

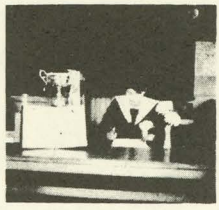
過去一年間の売上と部門別割合

九、山林について

(1)保有山林面積 (2)過去一年間の保有山林仕事者の雇入人数 (3)過去一年間の林産物の総売上

のうらぬ席の姉(同校三年)と顔見合せてそつとほほえむ。無言のうちに通心あう姉妹なのだ。祝賀会終了後、編集部の質問に答えて――

―応募の動機は?―
役場(教育委員会)から国語



の先生のところへ応募用紙がきましたので……
―文章を書くことは好き?―
好きです。学課でも国語が好きです。学校でも国語が好きなことを?―
いいえ、卓球と音楽クラブに

入選

おめでとう!

―道路愛護宣伝ポスター―

日頃小中学校生徒のみならずには、道路清掃にたいへんご協力をいただいておりますこと、深く感謝するとともに、厚くお礼申し上げます。

つぎにみなさんより多数応募いただきました道路愛護宣伝ポスターにつきまして、関係の先生方に厳正に審査していただきましたところ、次のとおり

青年の主張全国大会二位

ひとりの青年が 一枚の履歴書に左右 されてよいものか?

本郷高一年 佐々木美千子さん

経験と思うが今後どんな面に生かそうと思うか?―
将来の職業に生かしたいとも
思います。たとえば観光方面のガイドとかスチュワデスとか……いずれにしても、また学校が二年もありますので、自分の

実力を發揮できる職業を選ぶつもりです。
―練習で苦労したことなど―
国語の先生にたいへんな苦労をかけてしまいました。朝、授業の前に寒いなかで長時間練習しました。
―あなたの人生において貴重な

しめ、支えたものはなんであったらうか。恩師、友人もさることながら、その根幹は彼女の母であったらう。過去十五年の苦労を思う時、佐々木さんにかぎらず、すべての青年達にその想いを新たに願いたいものだ。
佐々木さんにとって、新しい年一九六五年は素晴らしい年を明けたのだ。時同じくして青年東栄町もまた新しい年に向けて。佐々木さんと同じくする青年諸君も新しい町づくり、そして国づくりは君達の手にかかっている。
佐々木さんのかぎりない成長と等しく青年達の明日に向けての新たな出発を祈りつつ学校をあとにした。
(編集部)

あなたの権利は こうして守られる

―検察審査会のはなし―

「自分の権利が侵害されたとき」あなたはどうしますか。どうして許さないと考えたときあなたは告訴(処罰を求めて警察または検察庁に訴える)するでしょう。しかし検察官はあなたが被害を受けたことがはっきりわかっていても犯罪の軽重、情状などによって起訴(裁判にかける)しないことがあります。犯人を起訴する権限は検察官だけが持っていますから、ここでダメになったらあなたが「ひどい」と思ってもどうにもなりません。こんなとき「あなたを救ってくれるのが検察審査会です」

「検察審査会とはどんな仕事を
するのでしょうか」
告訴事件や一般の事件について不起訴処分にしたものが要当であったかを審査します。つまり検察官の仕事に国民の利益の代表として国民の意思を反映させるのが最大の目的です。加えて検察官の仕事のやり方についても改善を勧告することができます。

「検察審査会はいつできたか」
昭和二十三年に施行された検察審査会法によってつくられ、愛知県内には名古屋地方裁判所内と豊橋、岡崎、一宮、半田の各地裁支部内にあります。

「あなたも検察審査員になれる」

審査員はすべて一般国民です。審査員は任期は六月、十一人の構成します。法律関係者は抽せんからのぞかれます。審査員はすべて法律について「しろうと」ばかりです。この「しろうと」が法律の専門家「検察官」の仕事を一般的な常識で批判するところにこの会最大の使命と任務があるわけです。

「審査会に申したいとき」
審査会事務局にだけ。事件の内容と不起訴処分が不当である理由を話して下さい。費用はいりません。用紙は事務局用意されており手続きも教えてくれます。

「あなたの申し立てを受けると審査会では」
ただちに審査をはじめます。事件記録をとりよせ、証人の話をきくことはもろろん検察官の出発を求めて意見をきき、実地見分もします。その結果、不起訴処分が適当でないとなればその理由をつけて検察官にこれをもとに再捜査して起訴適当となれば改めて起訴することになります。

「豊橋検察審査会事務局の所在地は」
豊橋市大岡町一〇番地、豊橋裁判所内、電話③三二四一です。

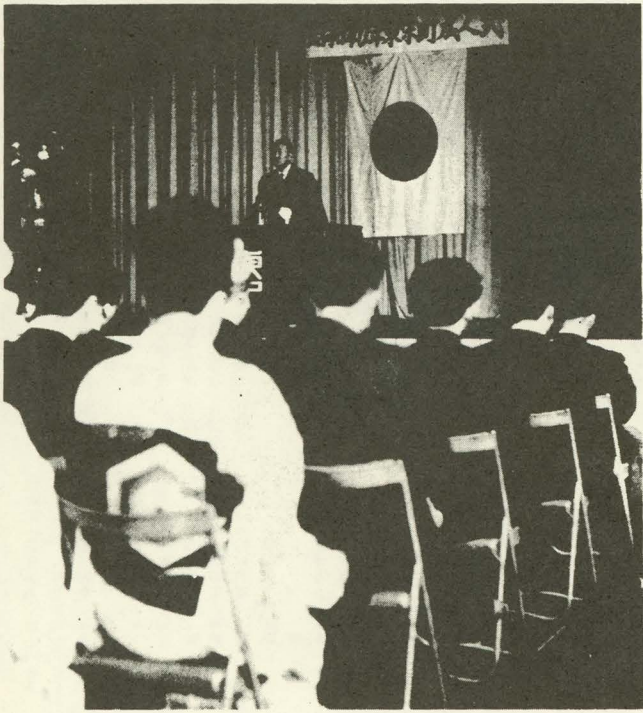
現在、活発に活動しています。あなたが犯罪によって被害を受けたら、検察官の仕事について不満のあるときは遠慮なく事務局に相談して下さい。
(豊橋検察審査会事務局)

特選	入選が決定いたしました。
おめでとうございます。	
なお審査にもれた作品も特選、入選におとらぬ優秀なものばかりだと審査にあたられた先生方のお言葉でしたので、次回もおおいにがんばって良い作品を進んでご応募くださることを願っています。	
昭和三十九年度道路愛護宣伝ポスター	
特選	小学校の部
一年	後藤道子
二年	鈴木真理子
三年	佐々木ゆう子
四年	伊東由利江
五年	鈴木郁代
六年	伊藤真澄
中学校の部	
一年	内藤千代
二年	石井清文
三年	渡辺昭久
小学校の部	
一年	山下如子
二年	高橋賢治
三年	伊藤ひさお
四年	滝川善久
五年	後藤いく子
六年	長坂容子
中学校の部	
一年	丸山和孝
二年	伊藤孝子
三年	伊藤直美
四年	丸山公子
五年	中山小
六年	金田参賀二
中学校の部	
一年	夏目吉久
二年	伊藤高敏
三年	丸山泰代
四年	相沢道代
五年	大木栄子
六年	外山守
東栄中	
東栄中	
東栄中	
振草中	
三輪中	
三輪中	
東栄中	

新春に巣立つ一・二・三の若鷲

青年の町づくりの柱となれ!

昭和四十年成人式から



北風の庭で、霜だけの足元がひどく気なるお嬢さん。みぎあげた靴の泥にまみれるもどく吹く風と紳士たち。晴れて成人式の会場は若い活気がみなぎっていた。青年たちははきはしい寒風も苦にならぬらしい。久かたぶりに逢う級友と話はいっはてるともない。その話題も、その笑いやかな姿に思わず微笑を誘われた。が、そこにまたこの日まで積んだ両親の苦勞をふと思ふ。終戦直後の乱れた世相の中で幾たび涙してこの子らの成長を祈ったことであろう。

い人生で毎々にこの日を思い出す。娘たちはこの日霜だけの足元にはらったやさしい心づかいを——。紳士諸君はわが足の泥にまみれるもいとわぬ前進の心意気を——。

しかも、忘れてはならぬ。君たちの両親のおそく君たちには信じられまい幾多の苦しみを——。

両親のかぎらない愛のこころは、おそく君たちがひとの親とならぬかぎりそのすべてを知ることとはできない。しかし、親はともかくも君たちのこの日を夢みてそれらの苦しみに耐えてきた。しかも、君たちがたいて

四十、五十の歳に達したとて親は君たちを息子と思ひ娘と思ひまだまだ子どもとして心配もし苦勞もする。その真意を思うところこそ最大の親孝行というべきなのだ。

ときにいま、君たちの生れ、育った故郷の町「東栄」は生れてより十年の日を迎えた。まさしく君たちと同様成人の日を迎えたのだ。その東栄がいまひとつの重大な力を求めている。

それは——君たちだ。

東栄町の若い力なのだ。青年「東栄町」は、いま全力をあげて新しい町づくりに向つてい

る。きのうあつてのきょうに非ず。きょうあつてのあすと、前進の息吹きはあらゆる産業も世代を通じていま、前向きな姿勢なのだ。しかし、その若き青年の力なくしては成しえぬ。故郷は君たちのよき思い出とともにあり、そのあしたは輝やける陽光に向わねばならぬ。忘るまい。君たちの町は君たちの手でいかようにも変りうる。

「立ちあがれ。青年よ、町づくりの柱となれ!」

式は午後二時過ぎ、その暮を降ろした。吹きやまぬ寒風の庭を胸を張り、顔あけてあすに向つた青年の姿に、明けて一九六五年新しい年、新しい町の前進の息吹き深々と感じた。彼等が町づくりの柱となる日は近い。

(東栄中学成人式会場にて)

あなたの家の牛は?

家畜共済に加入しよう

あなたの家の牛は共済保険に加入していますか。

牛も生身ですから風邪を引いたり、胃腸障害を起したり、骨折したりいづれこんな災難にかかわりかねません。また最近では牛の繁殖障害の病気が多く種付が悪いようです。こんな時に獣医さんのご厄介になるわけですがそこで役立つのが家畜共済の制度であります。万一の事故に備えて古くからは頼母子講や無尽がありましたが高畜養家には欠くことのできない家畜共済もあまり掛金が高くては加入することができません。このため国が掛金の一部を負担した家畜加入奨励金もつき農家負担の軽減が図られています。掛金もつと安くねばこれにこしたことはありませんが、そうするには家畜を飼っている農家が軒残らず加入して頂くことです。加入者が多くなれば加入頭数に対比した事故の割合が低くなり掛金も高くなくともよくなるわけです。

「立ちあがれ。青年よ、町づくりの柱となれ!」

式は午後二時過ぎ、その暮を降ろした。吹きやまぬ寒風の庭を胸を張り、顔あけてあすに向つた青年の姿に、明けて一九六五年新しい年、新しい町の前進の息吹き深々と感じた。彼等が町づくりの柱となる日は近い。

(東栄中学成人式会場にて)

牛の発情や思畜の場合平常の時は東栄六〇四八番へご連絡下さい。よければいわけでありすが、土曜日の午後や日曜、祭日の場合はご連絡は次のようにして下さい。

土曜日午後、日曜、祭日の場合は日直が勤務しておりますが午前中に連絡を受けて午後より出向くようにしておりますので午後は留守のことが多いと思ひますので発情、思畜の場合の連絡はなるべく午前中にして下さい。止むを得ず午後ご連絡する場合は家畜管理が留守の際は役場また農協の日直者に連絡して下さい。そうすれば管理所の方へ連絡事項を取り次ぐようになります。

表彰

日本道路協会会長より

町内のみなさんには、常々道路作業、道路清掃に快くご協力いただき、真に有難く厚くお礼申し上げます。

このたび東栄町道路愛護団が日本道路協会会長より次のとおり表彰状をいただくことができました。

これも常日頃みなさんの努力の賜でありまして、心から感謝するとともに、この喜びをお知らせ申し上げます。今後ますます町発展のためご協力が賜わりたいと存じます。

注、東栄町道路愛護団とは町内の小、中、高校、一般の道路愛護者により協力するものをいう。



役場人事

退職(十二月三十一日付)
古村昌子(税務課)
小野田しず子(保母)
就職(一月六日付)
松下延子(産業観光課)



オートバイの登録・廃車は

印鑑を忘れずに

乳牛		育成乳牛		和牛	
共済金額	掛金	共済金額	掛金	共済金額	掛金
一万円	八、四〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇	三万円	四、八〇〇
二万円	一六、八〇〇	二、〇〇〇	二、〇〇〇	四万円	六、四〇〇
三万円	二五、二〇〇	二、五〇〇	二、五〇〇	五万円	八、〇〇〇
四万円	三三、六〇〇	三、〇〇〇	三、〇〇〇	六万円	九、六〇〇
五万円	四二、〇〇〇	三、五〇〇	三、五〇〇	七万円	一、一、二〇〇
				八万円	一、二、八〇〇
				九万円	一、四、四〇〇
				十万円	一、六、〇〇〇

注 同一事故で限度額を超へた額は自己負担とする。

母親の賃労働と 子どもたちの願い

子どもが学校にでかけるとき、学校から帰ったとき、遊びから帰った時、そんなときに家にいてくれるはずの母親が家庭をあけていたら子どもたちはどんなに寂しいことでしょうか。

男親は外で働き、母親は家庭の留守を預かるというのが世の常識のようでありましたが最近の動きからして母親は家事一切の外に家庭における子どもへの家庭教育という大きな責任を負わされてきている現状であります。

子どもに最も密接な関係があり最も長い時間子どもに接する機会がある母親は子どもをよく理解者であり、助言者であり、指導者でもあるのです。

母親は知らず知らずのうち、そんな大きな役割を背負い、それを果しているのです。もちろん父親も大きな役割を果してありまして父母を中心とした家庭は子どもに大きく影響しており、明朗な子どもは、明るい人間関係の家庭に育ち、家庭の不安や人間関係のヒズミは子どもの成長の上に暗い影響を与えるといわれています。

経済の高度成長という言葉の響きに消費の増加に伴ない生活のために母親も家庭から出て働かなくてはならないという事態が生じてきており、特に大工場等が集まっている都市周辺の農村にその例が多く見られますが波紋の広がるように段々と他の農山村に影響を及ぼしてまいりました。

明るい豊かな郷土建設という東栄町社会教育目標の達成は明るい家庭、豊かな家庭創りが第一歩であります。家族同志が話し合い兼ね合い、明るい人間関係を築きあげてゆく反面消

費生活の増大に伴ない家庭経済の面で充分の研究と努力が重ねられてこそ其の明るい豊かな家庭創りがなされるのであります。

消費生活の増大に見合う収入増が必要となり家庭を守り子どもと共にあるはずの母親が家庭の外で働くといった事態も出るのであります。青少年の健全育成を願い、家庭教育が一層深まることを願い更に子どもに親を願う親の立場にあるもの一人として母親は家庭にあつて家事の余暇に収入を図る道はないものだらうかと思ふものであります。子どもの世話ができない母と子の話し合う暇がなくなつた。子どもの考えに親が解らないと家庭教育の危機を叫んでいる母親の声と、寂しい。相談相手になつて、勉強を見てくださると切実な願いを訴えている子どもの声が段々と大きくなつてきていることは事実であります。

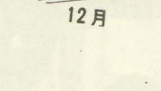
こうした幾多の問題や声にどう応えよう対処してゆくか、みんなの問題として真剣に取り組んでゆかなくてはならないと思ふいます。



—小林に児童館ができました—

行事

1日	教育委員会 役場	31日	県税窓口徴収
2日	御殿保育園最底基準検査	1日	東栄町合併十周年記念町民体育大会 本郷高校
4日	東栄中学校、粟代古戸小学校運動会	2日	本郷区家庭教育研究会
7日	共同募金委員会 役場	4日	平沢運動場 県保官
8日	東栄中学校管内各小学校運動会	5日	家庭評価 園地区開始
12日	設置城跡現地調査 県保官	4日	家庭評価 粟代地区開始
14日	課長会 (庁内)	5日	三輪区家庭教育研究会
15日	消防団分団長会	7日	振草区家庭教育研究会
16日	本郷区慰霊祭	8日	北設楽郡立誓式参加並東京オリンピック記念郡民体育大会出場
17日	図書館コンクール調査	9日	小林児童館竣工検査
18日	国災補助工事入札	10日	下川、東麓目地区家庭教育研究会
19日	保育園長主任保母会議	11日	三輪区家庭教育研究会
20日	固定資産評価委員会 役場	11日	林地区に関する講習会
21日	診療施設運営委員会	12日	東栄町架線士協会第二回総会 農林会館
21日	東栄町合併十周年記念行事委員会 役場	12日	狂犬病予防注射 (十四日まで)
22日	副長学校訪問	13日	御殿区家庭教育研究会 税務調査会調査
25日	第一次町民体育大会	13日	農業委員会 役場
26日	総監査、学校長合同会議 役場	14日	小林児童館竣工式 現地
28日	児童館建設委員会	14日	家庭評価 東麓目地区終了
28日	造林委員会 町有林現地厚生委員会 長合同会議 役場	14日	北設楽郡青年団幹部研修会 (十五日割合調査)
29日	豊川用水事業対策委員会	15日	珠算検定試験 中央小学校
		16日	小林区敬老会 児童館
		16日	地方交付税検査 (十八日まで)
		18日	郡税貯蓄組合表彰式
		18日	富産和牛部役員会 農協
		19日	医療問題協議会 役場
		20日	町民体育大会反省会 役場
		20日	奈良小学校特別教育活動研究発表会
		21日	東栄町農協婦人部大会 中央小学校
		21日	総務文教委員会 役場
		21日	三ツ石 西園目通学バス道路調査
		21日	NHKテレビ花祭取材 町商工会 役場
		23日	共同納税相談打合せ
		24日	畜産選奨牛審査 県保官
		24日	町社会科副読本編集会 役場
		25日	浦商工会議所事務来町学校訪問 中央小学校
		25日	民生委員協議会 役場
		26日	町社会科副読本編集会 役場
		27日	保育研究会 三輪保育園
		27日	町議会臨時会 役場
		28日	学校訪問 振草中学校
		28日	総務文教委員会 役場
		29日	家庭評価 御殿地区開始
		30日	下川地区慰霊祭
		30日	県税窓口徴収
		30日	振草中学校給食協議会
		1日	三輪中学校訪問 県副長
		2日	管内小学校教頭会 役場
		3日	職業相談 役場
		3日	富山村評価視察来町
		4日	建物家畜共済、農業共済加入推進運動 郡内一円
		4日	金融公庫融資調査
		5日	中設祭花祭
		6日	下川小学校新築十周年記念式 下川小学校
		7日	中学校駅伝競走 設楽東
		7日	宋開
		9日	日蔭橋入札 役場
		9日	年末調整説明会 役場
		10日	NHK花祭撮影取材 為来町 小林
		11日	国庫補助道路災害復旧工事査定
		12日	小会議 役場
		12日	小林花祭
		14日	NHKテレビ小林花祭取材のため来町
		14日	工業統計調査員訓練会 役場
		15日	青少年問題協議会、社会教育審議会合同会議 役場
		15日	家畜共済推進運動実施 込御園地区
		16日	未亡人役員会 役場
		16日	振草中学校給食竣工式
		17日	消防ポンプ入隊式 第二分団第八分団
		17日	豊川用水対策委員会 役場
		18日	消防団分団長会 役場
		18日	中央小学校 二ノ貫披露式
		18日	山林正常取引打合せ 農
		25日	議会土木委員会 役場
		25日	国道中設楽地区改良工事説明会
		27日	町内農林団体指導者会 普及所
		27日	浦商工会議所牧原参事
		27日	明石鈴中KK社長第二次製品に申し打合の為来町
		28日	町議会協議会 役場
		28日	年末夜警視察実施
		28日	御用納
		26日	28日
		26日	30日



編集後記

△めぐるめくひかりとともに明けた一九六五年。新しい年は合併より十年。青年「東栄町」飛躍の年も期待はおおきい。

△新年号から新しいスタイルでお届けする広報「とうえい」。編集部一同いっそう親しまれ、読まれる広報をと、ネジハチ巻き。がんばります、どうぞよろしく。

△成人式会場にて。

若さは無限を意味する。青年はそれを知っているのだから君たちは一実践したまえ。

△青年の主張全国大会二位入賞、祝賀会にて。

某先生

「皇太子ご夫妻と対談した感想は？」

美千子さん

「皇太子様でも頭かいて笑うんです」爆笑

「まことに良き時代でアル。△新、東栄町に必要なもの。若さ、情熱、実践の力、つまり青年。」

△もう一月が過ぎました。あわただしい編集はもう二ヶ月でしよう。またお目にかかります。来月……。

(編集部S)